

ロジスティクス環境会議

第6回省資源ロジスティクス推進委員会 議事録

・日 時：2004年9月24日（金） 15：00～17：00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館3F 牡丹

・出席者：31名

・議 案：

- 1) 事例集のまとめ方について
- 2) ガイドラインについて
- 3) その他

・開 会

定刻、山本委員長により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議 事

1) 事例集のまとめ方について【資料1、資料2】

山本委員長より、資料1に基づき、省資源ロジスティクス事例集案としてまとめた内容の説明がなされた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】共同化については、既存事業者から切替えがある。その際の選定のポイント等も記載してあると参考になるのではないか。

【委 員】共同化、モーダルとシフトどちらの施策も締切り時間の調整がポイントになっている。その辺りを打開した例があれば、途中の経過についても可能な限り加筆をお願いしたい。

【委 員】オフピークの使い分けの可否がポイントではないか。着時間の自由度の高い製品については料金を下げるなど、物流企業も弾力的な対応が必要ではないか。

【委 員】納品先の時間指定の問題が大きい。食品や日雑については、共同の物流センターがあっても良いのではないか。また、この委員会の場で真剣に議論しても良いのではないか。

【委 員】時間の調整については、社内でも調整可能な部分もあるのではないか。

以上のような意見交換を踏まえ、各メンバーは可能な範囲で加筆したものを事務局まで事例集の材料を提供することが確認された。

2) ガイドラインについて【資料3】

事務局より、資料3に基づき、ガイドライン作成の基本的な考え方について説明が行われ、以下のような意見交換がなされた。

【委 員】モーダルシフトで鉄道以外に、内航船についても記載する必要があるのではないか。

【事務局】内航に関しては、環境会議メンバーも手薄なため、関連団体にコンタクトを取って、情報を収集したい。

【委員】トラックの低公害車へのシフトが目立ってきており、記載する必要があるのではないかと。

【委員】共同化については、量販店拡大、生産拠点海外移転、在庫圧縮など、企業環境がこの10年位の間に変化しており、その辺りの背景についてもふれる必要があるのではないかと。

以上のような意見交換を踏まえ、第8回委員会（11月）までにガイドラインに関する議論が出来る材料を事務局で準備することが確認された。

3) その他

正副委員長による事前のミーティングで検討された、メンバー間による情報交換のための事例発表の場を設けたい旨、委事務局より説明が行われ、承認がなされた。

【発表者】

- ・モーダルシフト「鉄道貨物について」/日本貨物鉄道㈱
- ・共同化事例について/事務局より後日依頼

4) 今後スケジュールについて

第7回委員会・・・10月26日（火）14 - 17時

日本貨物鉄道㈱、その他2事例発表（予定）

第8回委員会・・・11月19日（金）14 - 17時

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、山本委員長は閉会を宣した。

以上